

あいち農産物生産流通レポート

平成25年2月号

情報サロン		
・名古屋市中央卸売市場における流通動向について(平成24年)	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・地域特産物のイチゴを使ったケーキを商品化しました	(海部農林水産事務所)	3
東日本情報		
・大田市場で「青果物流通講演会」が開催されました	(東京事務所)	4
西日本情報		
・愛知フェアin上海を開催しました	(食育推進課)	6
フラワーページ		
・「フラワーバレンタイン2013」～3年目の新たなチャレンジ!	(フラワーバレンタイン推進委員会)	8
青 果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		1 1
・名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し		1 2
花 き		
・切花・鉢花の2月の見通し(県内市場)		2 4
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2012年11月)		2 8
関連指数		2 9

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

名古屋市中央卸売市場における流通動向について（平成24年）

1 野菜

平成24年の野菜は、入荷量が平年に比べ96%とやや下回りましたが、価格は平年並みにとどまりました。

1月～3月

12月から2月にかけての全国的な低温・日照不足の影響から生育遅れや肥大不足となり、ほうれんそうを始めとした葉菜類やきゅうり、なすなどの果菜類の入荷量は、平年（5か年平均）をやや下回り、価格はこれらの品目を中心に平年を大幅に上回りました。

4月～6月

春先の天候不順の影響による春夏作の生育遅れに加えて、ばれいしょやたまねぎなどの貯蔵ものの残量も少なかったことから、入荷量は平年をやや下回りました。価格については、トマト、たまねぎなど一部の品目で平年比3割高となりましたが、全体では、平年をやや上回りました。

7月～9月

記録的な残暑が続き、野菜の入荷量はキャベツ、レタス除き平年をやや下回りましたが、価格は、キャベツ、レタスを中心に平年を大幅に下回るものとなりました。

10月～12月

平年より冷え込み時期が早く、しかも気温が平年より低めで推移した影響から、収穫時期が遅れ、入荷量は平年をやや下回りました。価格は、入荷が少なかったほうれんそう、レタスなどの葉菜類や果菜類は平年を上回るも、はくさい、キャベツや土物類などを中心に平年を大幅に下回り、全体では平年をやや下回りました。

表1 野菜の取扱実績

(単位:t、円/kg、%)

区分	1月～3月		4月～6月		7月～9月		10月～12月		24年	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
本年実績	95,748	239	102,385	216	98,236	188	107,562	97	604,553	205
前年比	100	113	99	87	101	87	97	90	96	95
平年比	95	117	95	104	97	89	97	95	96	100

(注)平年とは平成19年から23年の5か年平均をいふ。(以下同じ。)

2 果実

平成24年の果実は、入荷量が平年に比べ88%とかなり下回りましたが、価格は平

年比 106%にとどまりました。

1月～3月

この時期入荷の中心となるかんきつが裏年にあたったことに加え、りんごは前年の天候不順や台風の影響から貯蔵量が少なく、入荷量は平年を2割ほど下回りました。価格は平年を大幅に上回った状態で推移しました。

4月～6月

かんきつ類やりんごは貯蔵量が少なく、依然として入荷量が少ない状態が続きました。果実全体では、入荷量は平年をかなり下回り、価格は平年をやや上回りました。

7月～9月

生育期の天候不順の影響から、もも、なしの入荷量が減少しました。9月に入っても記録的な残暑が続き、りんご、かき等の秋果実の入荷量も減少し、果実全体では平年をかなり下回ったが、価格は、平年をわずかに上回るにとどまりました。

10～12月

入荷の中心となるみかんが小玉傾向のため入荷が少なく、11～12月の低温・日照不足の影響によるいちごなどの生育遅れのため、果実全体の入荷量は平年をかなり下回りました。価格は、入荷が少なかつたりんごなどを中心に平年をかなり上回りました。

表2 果実の取扱実績

(単位:t, 円/kg, %)

区分	1月～3月		4月～6月		7月～9月		10月～12月		24年	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
本年実績	26,402	374	26,439	343	33,411	337	38,690	281	184,791	332
前年比	96	105	92	105	100	101	99	102	88	96
平年比	80	117	85	104	91	102	94	108	88	106

地域特産物のイチゴを使ったケーキを商品化しました

海部農林水産事務所では、消費者の「イチゴを使った新鮮でおいしいケーキを食べたい。」という“思い”(=ニーズ)に応えるため、県育成品種「ゆめのか」のイチゴ生産者、あいち海部農業協同組合の「ジューシーで甘味と酸味のバランスの良い「ゆめのか」を皆さんに知ってもらいたい、食べてもらいたい。地元のパティシエに使ってもらいたい。」という“思い”(=セールスポイント)と蟹江町の洋菓子店「パリジャン」のパティシエの「地元の農産物を使ったおいしいケーキを作りたい。」という“思い”(=こだわり)が連携して、夢のかなうケーキが商品化されることになりました。

“ゆめのかショートケーキ”

通常ケーキに使うイチゴは、2Lサイズより小さいものが主体で、大きいサイズのもの、スライスして使用する場合が多いのですが、最も多く出荷される3Lサイズ「ゆめのか」を小さめのカステラの上にのせました。

“創作スイーツ”

カスタードプリンを和菓子でよく使う求肥(ぎゅうひ)で包み、「ゆめのか」などのフルーツをのせた新たな創作スイーツを開発中です。

このほか、「パリジャン」では、1月下旬から3月にかけて、「ゆめのかフェア」を開催しており、店内で使用するイチゴはすべて海部産の「ゆめのか」に切り替えていく予定で、節分の時期には、「夢の叶う(ゆめのかなう)恵方巻きロール」を販売するなど、ゆめのかイチゴのPRを行っています。



ゆめのかショートケーキ



創作スイーツ

大田市場で「青果物流通講演会」 が開催されました

去る1月25日(金)、東京都中央卸売市場大田市場業務棟大ホールにおいて、「青果物の生産・流通変化と将来予想」と題して、流通ジャーナリストの小林彰一氏による講演会が開催されましたので紹介します。



参集者

講演には、関東園芸振興連絡協議会、在京流通行政連絡会、県連東京事務所連絡協議会の会員、約100名が集まりました。

講演概要

卸売市場を中心とした青果物流通の現状と課題、更には今後目指すべき方向等について以下の項目に沿ってお話がありました。

< 講師略歴 >

小林彰一(こばやし しょういち)
流通ジャーナリスト
(専門分野 = 農産物の流通・販売・消費、輸入品の流通)
昭和47年 (株)農経新聞社入社
昭和55年 取締役編集長
昭和59年 企画調査室長(兼務)
平成2年 (株)農経企画情報センター代表取締役
青果物コーディネーター「農経マーケティングシステムズ」主宰
平成10年 オピニオン情報誌「Think & Say = 新感性」
編集・発行
平成21年 月刊「農林リサーチ」編集・発行

主な著書

「ドキュメント青果物市場」、「日本を襲う外国青果物」、レポート青果物の市場外流通」、「野菜のおいしさランキング」ほか

なぜ「卸売市場流通は地盤沈下」といわれるのか

市場経由率(平成21年)は青果で65%まで低下、国産の青果物に関しては88%経由している。しかし国産そのものの生産量が減っていることが地盤沈下の原因のひとつ。

流通業界の売上げ減少と経営悪化

その大きな要因は市場を経由しない「直接取引」の増加と、買う側(小売業者、業務用などの実需者)の徹底した価格志向が影響。

小売業の構造変化がもたらす流通秩序の崩壊

小売業（特に量販店）の計画販売（固定的な価格、数量）による硬直化、それを補完する、いわゆる「八百屋」の衰退、直売の繁栄などが原因。

長引く不況で変わる需要構造と現状認識不足

生鮮卸売業界は急速な加工業務需要のシェア拡大に対応しきれていない。

まず必要なのは「国内野菜の大幅減少」の検証

国内の野菜の生産量はここ10年で220万トン減少したことに対して、輸入量は増加傾向で特に中国からの輸入が増加している。その対策は「拡大再生産」特に加工業務用需要に対する「園芸振興・生産振興」の必要性を強調。

期待される青果卸売会社の「差別的取扱」

青果物などの生鮮食品は、生活必需品とはいえ、「消費者ニーズ」や購買意欲というパイが小さくなっているのだから、閉塞感に任せていては、ジリ貧のマイナススパイラルに陥るだけ、生産と流通が相携えた「提案型戦略」によって、「供給力」を増強し新たなニーズを想像していくことの重要性を強調。

卸売会社は、産地・商品作りへの参画、産地には「受注生産型」振興、流通業界には「提案型」営業を積極的に展開すべきであると指摘され、ビジネスモデルとしては「JA全農茨城のVFステーション」や「全農青果センター」。

地場市場を中核とした地域振興・活性化

市場を中心に地産地消のフードシステムを確立や、地域での6次産業化、昔ながらの八百屋さんをモデルとした消費者に対して旬、相場などを説明しながら対面販売のできる健全な「小売機能」の育成の必要性。

生産出荷側に求められる横断的な協働体制

「産地間競争」をやっている暇はなく、県の垣根を越えた国内産という考え方をもとに「産地間協働」がこれからの産地振興には必要であると強調。（アメリカでは品目別に業界団体があり、それらの団体が国内をひとつにまとめ、生産流通、PR活動を一括して行っている。）

長年、青果物流通ジャーナリストの第一人者として活躍されてきた経験を生かした小林氏の講演は、青果物流通に携わる3団体の関係者にとって大変参考になるものとなりました。

「愛知フェア in 上海」を開催しました！

新たな市場として有望な中国・上海において、県産農林水産物を使った加工食品及び県内地場産品の販路開拓のため、下記のとおり「愛知フェア in 上海」を開催しました。

記

1 開催期間

- (1) 販売促進会：平成25年1月9日（水）～15日（火）の7日間
1月12日（土）午後に知事によるトップセールスを実施
- (2) 商談会：平成25年1月14日（月）

2 会場

- (1) 販売促進会：上海久光百貨（上海市静安区南京西路1618号）
- (2) 商談会：上海マート（上海市長寧区延安西路2299号）

3 結果

- (1) 販売促進会（加工食品取扱事業者13者、地場産品取扱事業者2者）

ア 販売状況

販売目標金額を大幅に上回った。

イ 売れ筋商品

せんべい（健康面、手焼きが評価）、リキュール類（飲みやすさ）
招き猫（かわいらしさ）、ラーメン（素朴さ）、きしめん（目新しさ）
味噌・みりん

(ア) 完売した出展者

3者（せんべい、梅酒等、リキュール等）

(イ) テストマーケティング用を残して完売した出展者

3者（ラーメン、菓子類、めん類）

(ウ) 上記以外の完売商品

3者、5商品（日本酒、味噌、せんべい等）

ウ 上海久光百貨の評価

- ・ 各自治体がフェアを控える中、愛知県が先陣を切って開催し、成功を収めたことを高く評価している。
- ・ 地方自治体の単独出展としては、これまでの中で、北海道に次ぎ2番目の売上であった。
- ・ 売れ行きの良かったものは、今後定番化したい。

エ 出展者の評価

- ・ 単独の出展はできないので、良い経験になった。
- ・ 直に消費者の声が聞けたことは、今後につながる。

- ・ 健康面の関心が高いことや贈答需要があることがわかった。

オ 消費者の評価

- ・ 大変おいしく、丁寧に作っている印象がある。
- ・ 健康に良さそうな商品が多い（豆乳、おからせんべい、果実酢）が、値段が高い。
- ・ 馴染みのない調味料（味噌、みりん等）は、使い方がよくわからない。

(2) 商談会

ア 参加出展者数

13者

イ 来場バイヤー数

38社（うち日系6社）（当初予定15社）

ウ 商談件数

90件

エ 出展者の意見

- ・ とても多くのバイヤーの意見を聞くことができた。
- ・ 味見より、まず値段の交渉から入ることに驚いた。
- ・ シティスーパーのバイヤーとの商談がまとまった（ラーメン）。
- ・ 日本での代理店を決めてから、商談に臨む必要があると痛感した。



出展者を激励する大村知事



試食を勧める大村知事（ラーメン）



久光百貨の責任者との会談で県産品の取り扱いを要望する大村知事



商談会開催状況

フラワーバレンタイン推進委員会
ワーキングチームリーダー
小川典子

「フラワーバレンタイン2013」～3年目の新たなチャレンジ!

花き業界の有志で編成されているフラワーバレンタイン推進委員会(会長:井上英明)は、世界標準のバレンタインデーのあり方である“男性から女性への花贈り”を推奨するキャンペーン「フラワーバレンタイン」(後援:農林水産省)を企画提案し、全国花店の3分の1に相当する約8千5百店の花店とその他多くの業界関係者の参加・協力を得て、2011年のバレンタインデーより取り組みを実施しています。年間の中で特に売上げが悪い1月2月の活性策として、バレンタインデーも世界各国同様の物日に育てようとの認識のもと、花き業界唯一の統一キャンペーンとして、業界内外から注目されています。

公式ホームページ: <http://www.flower-valentine.com/>



2013年度ポスター

昨年のフラワーバレンタインの成果

2012年度は「Mr.フラワーバレンタイン」にサッカー・三浦知良選手が就任するなどマスコミへの話題づくりや、異業種との継続的なタイアップ、全国各地で企画開催された告知イベントなど、活動に広がりを見せました。

また、フラワーバレンタインに熱心に取り組んだ花店では、バレンタイン当日にキャンペーンのターゲットでもある30代～40代の男性客の数がぐっと伸び、売上も平均で前年同日比で18%伸びるなど、手応えを感じたお店も少なくありません。その効果が翌月のホワイトデーにも好影響したとの嬉しい報告もあります。

しかし、まだまだ全国のお客様の認知度は16%程度()にとどまり、お客様の反応があるのも都市部が中心、売上も立地条件に左右されるなど、課題が多いのも事実です。(アンケート協力の全国60店舗平均値)

また、鉢物生産者や市場の有志の方たちが「全国鉢物消費拡大プロジェクト委員会」を組織し、市場での展開や、小売店への提案を検討するなど、フラワーバレンタインを機



Mr.フラワーバレンタイン
サッカー・三浦知良選手

に鉢物のプロモーションを合同で強化する動きも見られ、フラワーバレンタインの共通ロゴのタグを使用したオリジナル鉢物商品が大きく広がりました。鉢物生産者の動きは2013年度ますます加速し、切花生産者や市場関係者にもその意識が波及しています。

2013年度、3年目の新たなチャレンジ

「フラワーバレンタイン」は、男性が女性にもっと花を贈るようになる“きっかけ”作りであり、バレンタインデーに花贈りの素敵さを体感した男性が、年間を通してもっと花を購入するようになる新たな顧客創造の第一歩と考えています。

また、男性にもっと女性に花を贈ってほしい、という思いをこめて、花贈りの入門書『HOW TO 花贈り～気持ちを花にのせて』（朝日出版社）を2013年



オリジナル書籍 & コラボ CD

2月1日に発刊。巻末には切り離し可能な花束見本帖をつけ、男性が年間を通じて気軽に花店で希望を伝えられるツールとしました。書籍の帯は三浦知良選手が飾ってくださいました。さらに、1月30日には、ユニバーサル ミュージックとのコラボ企画でフラワーバレンタインをイメージした洋楽ラヴ・ソングを集めたオフィシャルタイアップコンピ CD『LOVE WORDS』も発売されます。その中には、オリジナルショートムービーのために書き下ろされたテーマ曲『flower valentine』も収録されています。

このように、当推進委員会では様々な異業種とのコラボレーションを企画し、全国の書店や CD ショップ、それらを扱うアマゾンのようなネットショップなど、花店以外でのチャネルにおいても「フラワーバレンタイン」を訴求し、お客様との情報接点を増やすなど、認知拡大につとめています。低予算の中での工夫ではありますが、文章や写真、音楽、映像を駆使して「フラワーバレンタイン」の素敵さをエモーショナルに伝えていきます。

書籍・CDのご紹介 <http://www.flower-valentine.com/tieup/>

オリジナルショートムービー <http://www.flower-valentine.com/movie/>

販促に役立つ公式グッズも充実！

2012年度評判の良かったハート型のバルーンやのぼりをはじめ、本年度は、お店のスタッフがお揃いで制服やエプロンにつけられるフラワーバレンタイン缶バッジや、イベント時にも活躍しそうなウィンドブレーカー、また手軽な商品化に役立つスリーブなども加わって、店頭展開もますます充実できるよう、公式グッズの販促ツールも充実させました。

公式グッズのご紹介 http://www.flower-valentine.com/fv_supporter/

男性から女性へという、従来の日本のバレンタインデーとは真逆の提案で、しかも花を持ち歩くことが恥ずかしい男性が多いわが国において、本当に浸透するののかとの不安の声もありました。が、フラワーバレンタインのコンセプトは、業界内外、そして一般のお客様にも着実に受け入れられ、2年目からはPR活動が全国各地に波及し、その勢いは3年目の今年もとどまるところを知りません。

大切な方の笑顔のために、男性から女性へ花を贈る LOVE にあふれた日本を目指して、生産者様、流通の皆様もぜひ一緒にフラワーバレンタイン活動にご参加いただければと強く願っております。

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	5,475	1,741 (32%)	346	319	北海道 (20%) 鳥取 (17%)
25年見通し	5,500	-	350	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>田原市、豊橋市を中心に入荷。低温と年末から1月上旬にかけての干ばつの影響で各地生育が悪い。入荷量は10月は前年を上回ったがそれ以降は低迷し、今後も大幅な増量は見込めない。入荷量が少ないことから高値水準での販売となっている。12月末が高値のピークだった。</p>			<p>鳥取では作付面積増であるが他産地では概ね横這い。新品種の開発が進んでおり、年々育てやすい品種が出回ってきている。夏はサラダ、冬はシチュー等で年間を通して需要があり毎年売れ筋ランキングの上位にランクインする品目のため量販店、産地からの注目度も高い。量販店での消費宣伝、地産地消を謳った学校給食での利用で消費拡大をおこなう。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：ブロッコリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
24年実績	2,006	854 (43%)	377	405	米国 (23%) 埼玉 (9%) 中国 (8%)
25年見通し	2,000	850	360	380	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>この時期の入荷は愛知が約半分近くを占め、次いで年内出荷が主力である埼玉が続く。愛知はここまで低温の影響で出荷量は前年を大きく下回っているが、今後の気温上昇次第では、2月に入って出荷増も見込まれる。他産地も同様の傾向である。米国産は品質が悪く入荷数量は少ない見込み。入荷量は少なかった前年並を見込み、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>ブロッコリーは栄養価の高い食材として消費者の購買意欲も高く、量販店にとっても年間を通して目玉商品となる商材である。数量が不安定であると、売り込みがかけられず、増量してきたときの対応が後手に回ってしまうので、安定した数量とより正確な出荷情報をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の2月の見通し

名古屋市中央卸売市場

1月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	20年	34,090	206	196	205	217	愛知 27%
	21年	34,624	179	186	178	171	北海道 22%
	22年	31,242	217	217	221	212	茨城 7%
	23年	29,898	230	229	238	231	鹿児島 7%
	24年	32,169	237	233	231	246	
	5カ年平均	32,405	214	-	-	-	
	25年見通し	32,000	213	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>主な産地は愛知、北海道。1月の冷え込みの影響で生育が遅れ、2月にずれ込んでいる。たまねぎは豊作のため安値となって輸入物も減っている。 入荷量は前年並み、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
だいこん	20年	1,984	71	63	72	79	静岡 51%
	21年	2,068	63	67	58	66	徳島 25%
	22年	1,867	85	85	88	81	鹿児島 10%
	23年	1,864	89	88	99	79	長崎 4%
	24年	2,131	106	99	112	110	
	5カ年平均	1,983	83	80	86	83	
	25年見通し	2,000	100	100	100	100	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>静岡からの入荷がピークを迎える。徳島、愛知、鹿児島は順調な出荷。1月の冷え込みの影響で生育が遅れ2月出荷にずれ込む。 入荷量は前年をかなり下回り、価格も前年をやや下回る見込み。</p>							
にんじん	20年	2,834	100	86	103	112	愛知 79%
	21年	2,387	95	96	93	98	鹿児島 17%
	22年	2,260	72	71	71	75	熊本 1%
	23年	2,140	136	126	142	144	千葉 1%
	24年	2,017	124	115	128	134	
	5カ年平均	2,328	104	98	106	112	
	25年見通し	2,100	110	110	110	110	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知が中心でそのあとに続く鹿児島の2つで主要産地を形成している。鹿児島は生育が遅れておりM、Sが中心。全体的には3L、2Lの太物、規格外が多い。 入荷量は不作だった前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

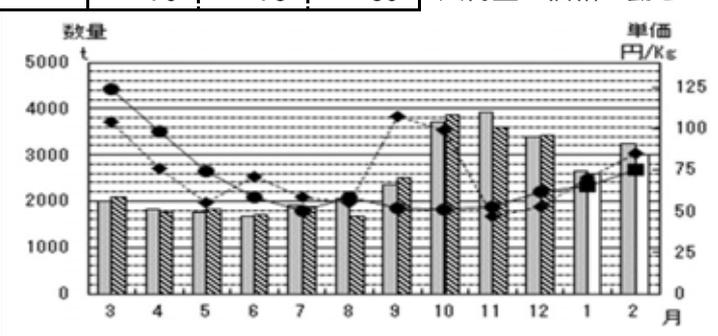
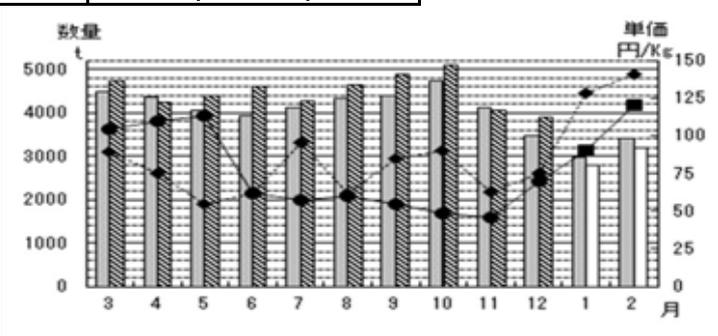
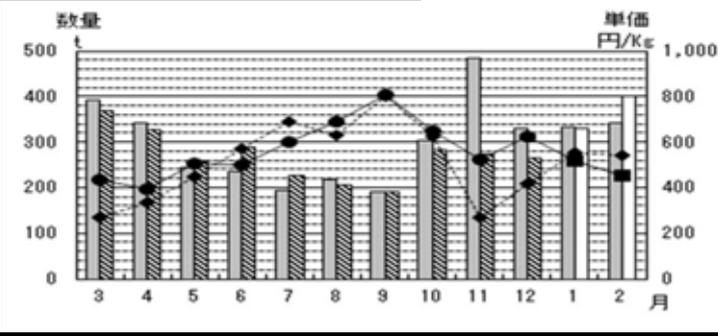
1月23日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	20年	123,759	234	226	231	244	千葉 16%
	21年	124,154	205	213	197	204	茨城 13%
	22年	116,832	241	235	248	241	北海道 12%
	23年	117,364	240	239	245	237	愛知 10%
	24年	123,066	257	248	250	274	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	121,035	235	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	123,000	235	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東産地からの入荷が中心で、果菜類は西南暖地が増え、土物類は北海道からの入荷となる。昨年同様、寒波の影響が見受けられる。年末以降、単価高の基調で推移しているが2月に入りやや落ち着いてくる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。							
だいこん	20年	12,362	78	72	80	84	神奈川 61%
	21年	12,120	68	73	64	66	千葉 27%
	22年	11,631	99	94	111	89	徳島 7%
	23年	11,574	87	85	100	76	静岡 2%
	24年	11,593	120	110	127	125	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	11,856	90	86	96	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	11,500	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東産地からの入荷が中心となる。神奈川、千葉の各産地ともに低温が続いているため小ぶりの仕上がり、高値推移できていることもあり、前倒しでの出荷傾向が強い。入荷量は前年並が予想され、価格は高値の前年を大幅に下回る。							
にんじん	20年	6,880	128	116	131	136	千葉 73%
	21年	6,930	113	120	107	111	埼玉 11%
	22年	6,940	83	74	86	93	茨城 5%
	23年	6,408	164	158	174	162	鹿児島 3%
	24年	6,935	121	114	123	132	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	6,819	121	116	123	127	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	24年見通し	6,600	140	130	140	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に続き千葉、埼玉などの関東産地からの入荷が中心となる。千葉、埼玉は寒さの影響で初期生育から作柄は良くなり出荷量は前年を下回る。特に月後半に数量が減少する見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

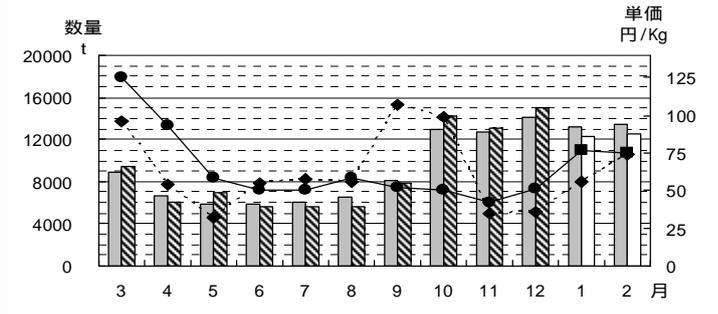
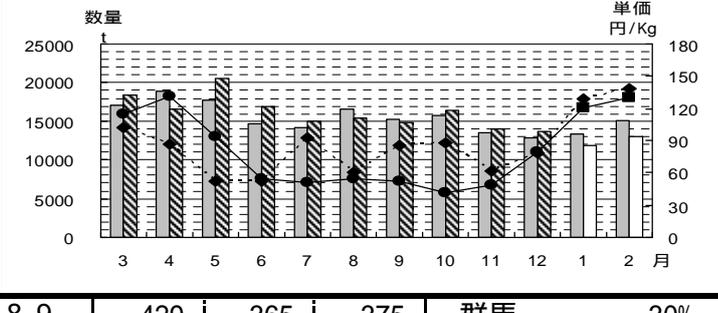
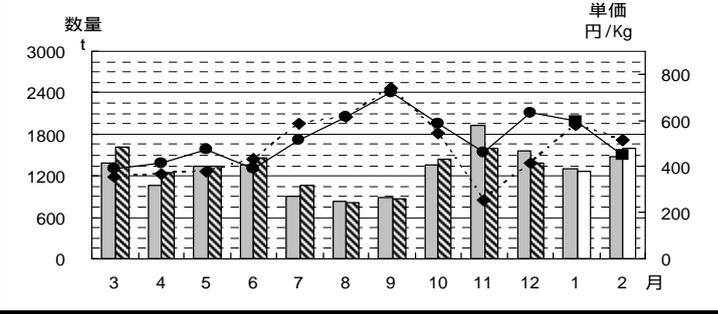
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	20年	3,214	79	63	78	96	茨城 37% 愛知 29% 兵庫 26%
	21年	2,780	79	77	78	83	
	22年	2,930	70	68	75	67	
	23年	2,900	78	68	85	86	
	24年	3,237	85	77	88	95	
	5ヵ年平均	3,012	78	71	81	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	3,000	75	70	75	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知で兵庫、茨城が続く。入荷量は愛知は昨年並みだが、兵庫は生育遅れで減少、茨城は増加している。九州ものも多い。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
キャベツ	20年	3,118	95	77	101	108	愛知 92% 茨城 3% 鹿児島 2%
	21年	3,236	86	86	80	92	
	22年	2,910	111	108	114	111	
	23年	2,877	129	126	135	125	
	24年	3,402	141	145	132	148	
	5ヵ年平均	3,109	112	109	112	117	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	3,200	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知。低温の影響で生育不良ではあるがほぼ順調な出荷。大玉中心から小玉傾向になった。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
ほうれんそう	20年	457	387	364	394	408	愛知 89% 茨城 3% 群馬 3% 岐阜 1%
	21年	527	241	267	199	268	
	22年	471	401	441	387	360	
	23年	439	398	488	405	314	
	24年	341	542	593	580	511	
	5ヵ年平均	447	381	417	377	362	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	400	450	500	450	400		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知で一部徳島、茨城からも入荷がある。2月上旬は冷え込みが厳しいので出荷量は少量で現状の相場と大きな開きはない。下旬以降は天候次第だが入荷量は増えてくる見込み。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	20年	11,692	63	24	27	41	茨城 66%
	21年	11,563	62	46	62	85	群馬 18%
	22年	12,369	55	48	68	46	兵庫 10%
	23年	12,562	68	57	79	71	埼玉 4%
	24年	13,409	74	61	72	92	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	12,319	65	48	62	67	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	12,500	75	80	75	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城と群馬からの入荷が中心となる。茨城の生育は低温の影響で本年も肥大が鈍く小玉傾向、それに加え降雪等の影響で葉のイタミも散見される。兵庫も小玉傾向。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。							
キャベツ	20年	13,094	98	81	103	114	愛知 62%
	21年	14,368	88	86	81	100	千葉 20%
	22年	13,475	116	114	118	116	神奈川 14%
	23年	13,583	128	134	130	120	中国 1%
	24年	15,072	139	135	128	154	(愛知産比率 62%)
	5ヵ年平均	13,918	114	110	112	121	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	13,500	130	120	130	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心。愛知の生育は寒さ厳しい中ではあるが、生育は概ね順調で平年並の出荷が見込まれる。千葉、神奈川も寒波や干ばつの影響で小玉傾向。入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
ほうれんそう	20年	1,852	389	429	365	375	群馬 30%
	21年	1,900	289	286	265	332	茨城 23%
	22年	1,756	425	421	479	366	埼玉 19%
	23年	1,820	413	502	419	327	千葉 19%
	24年	1,484	514	634	498	421	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,762	401	454	405	364	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,600	450	500	450	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が大部分を占める。昨年同様、各産地とも生育は寒波の影響で一部がやや遅れぎみであるが、昨年と比べると良好。作付増の産地もある。入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							

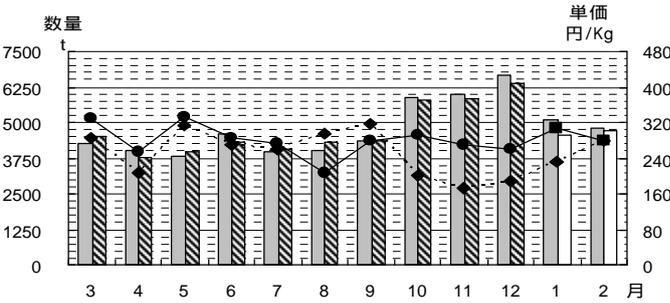
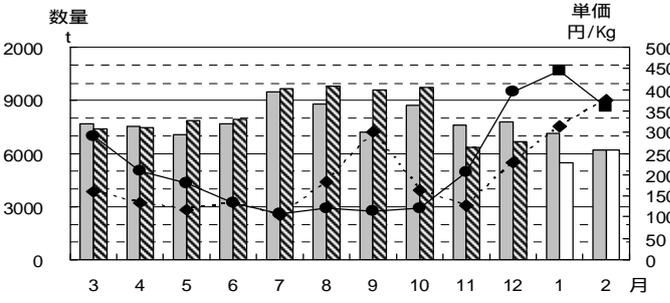
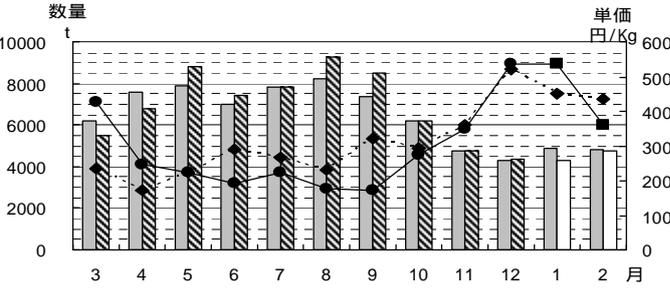
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	987	404	353	407	454	愛知 22%
	21年	999	290	306	279	283	静岡 18%
	22年	980	378	352	425	355	大分 17%
	23年	856	423	401	444	433	群馬 12%
	24年	945	411	437	432	385	
	5カ年平均	953	380	368	395	380	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	970	350	370	350	330	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主な産地は愛知、静岡、大分。そのほか北関東からの入荷が見込まれる。白ねぎは各産地とも低温のため出荷遅れが出てその分年明けにずれ込んでいる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
しそ	20年	1,505	252	229	243	287	兵庫 34%
	21年	1,737	181	190	173	181	静岡 20%
	22年	1,463	252	251	255	248	愛知 17%
	23年	1,211	303	343	312	255	熊本 14%
	24年	1,130	417	384	403	475	
	5カ年平均	1,409	270	268	266	277	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,200	400	400	400	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主な産地は兵庫、静岡、愛知、熊本。冷え込みの影響で入荷量が少なく、小玉傾向で箱数が少ない。2月は厳寒期のため不安定な入荷が予想される。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。					
きゅうり	20年	1,247	382	545	368	276	愛知 55%
	21年	1,197	314	369	263	327	高知 17%
	22年	1,076	372	326	305	313	宮崎 17%
	23年	1,199	315	326	305	313	鹿児島 11%
	24年	1,088	422	432	390	456	
	5カ年平均	1,161	360	402	326	335	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,100	380	400	370	370	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		主な産地は愛知。2月上旬は節分需要のため高値傾向。中下旬も売価は高値のまま進む見込み。 入荷量は前年並み、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

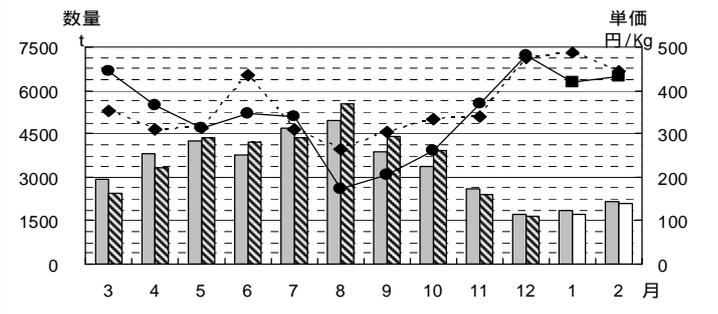
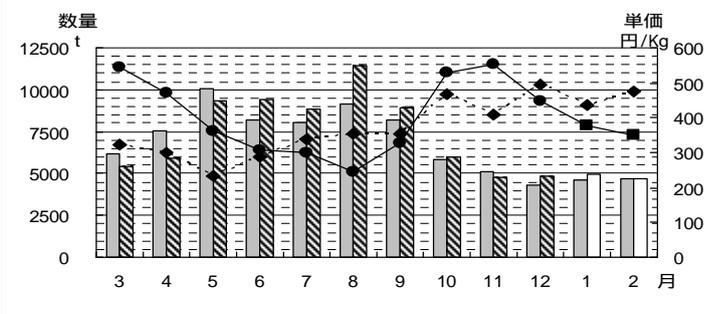
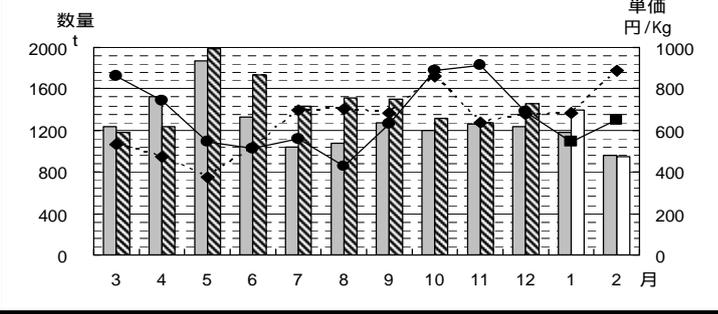
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	20年	4,931	283	264	272	320	千葉 38%
	21年	4,891	173	190	154	175	埼玉 26%
	22年	4,389	333	279	414	304	茨城 13%
	23年	4,369	303	272	340	306	群馬 11%
	24年	4,800	279	252	281	313	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,676	272	251	292	284	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,700	280	280	280		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き関東産地からの入荷が中心となる。千葉の生育は寒さ、降雪の影響は少なく順調な出荷できているが、土寄せ作業遅れもあり2月にはいると若干出荷ペースが鈍る。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。					
しそ	20年	7,086	231	208	224	268	静岡 34%
	21年	7,859	174	187	160	177	香川 11%
	22年	6,764	244	246	247	237	茨城 10%
	23年	6,348	275	325	280	219	兵庫 7%
	24年	6,221	377	359	363	414	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	6,856	255	260	249	258	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	6,200	360	380	360	340	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き静岡と香川中心の入荷となる。香川を中心とした西南暖地産は、曇天、冷え込みが厳しく小玉傾向。静岡は今後の天候次第ではあるが、寒さの和らぎとともに順調な出荷が期待できる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値の前年をやや下回る見込み。					
きゅうり	20年	5,120	400	578	383	284	宮崎 28%
	21年	4,955	350	413	306	340	千葉 21%
	22年	4,618	397	378	394	434	高知 15%
	23年	4,939	334	338	333	331	群馬 14%
	24年	4,836	435	439	398	466	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,894	383	429	363	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,800	360	370	360	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に続き西南暖地と関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも低温続きで遅れが見られる。その中で関東産地は、2月後半には出荷量が増えてくる見込み。 入荷量は前年並が見込まれ、価格は高値で推移した前年をかなり下回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な	20年	469	409	494	436	340	熊本 51%
	21年	539	319	364	296	298	愛知 46%
	22年	474	384	400	383	369	高知 3%
	23年	542	343	349	339	340	福岡 1%
	24年	472	383	400	386	374	
す	5ヵ年平均	499	366	399	365	343	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	470	400	420	400	380	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は愛知、熊本。年末年始は曇天、低温の影響で出荷量は少なかった。加温のための重油も高騰し農家は加温も困難。天候回復までは出荷量は少ない見込み。特売商材ではないため現状の販売が続くと予想される。入荷量は前年並み、価格はやや上回る見込み。</p>					
マ	20年	859	334	336	349	318	熊本 42%
	21年	884	310	319	302	310	愛知 32%
	22年	866	352	377	340	338	三重 15%
	23年	896	296	271	296	329	岐阜 6%
	24年	853	436	364	397	564	
ト	5ヵ年平均	872	345	333	336	371	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	850	350	380	340	330	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は熊本。愛知、三重、岐阜の近郊物が並行販売される。12月に曇りが続いたため、玉は大きくなるが、着果があまり良くないため、少なめの出荷で価格も上がると見られる。低温のため出荷量は概ね前年並みの見込み。熊本では入荷減はない。入荷量は前年並み、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
三	20年	215	716	711	760	681	熊本 53%
	21年	206	689	736	668	662	愛知 32%
	22年	244	685	707	659	688	和歌山 11%
	23年	237	687	676	696	691	
	24年	248	850	778	798	1,016	
ト	5ヵ年平均	230	728	722	717	754	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	230	700	700	700	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は熊本、愛知、和歌山。低温の影響で1月ものが2月にずれ込んでいる。一時的なものなので2月からは出荷量が減少する。天候次第だが入荷量は例年並みに落ち着く見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	20年	2,151	439	514	438	385	高知 60%
	21年	2,240	378	442	341	358	福岡 18%
	22年	1,825	445	490	437	404	熊本 9%
	23年	2,033	404	387	398	429	佐賀 6%
	24年	2,137	445	429	460	450	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	2,077	421	452	415	405	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	2,100	430	430	430		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き西南暖地からの入荷が中心となる。高知を中心とする西南暖地は寒さの影響で生育のペースは鈍いものの、2月の出荷量はほぼ前年並が見込まれる。 入荷量は前年並で、価格はやや前年を下回る見込み。</p>					
							
ト マ ト	20年	4,882	355	366	360	341	熊本 34%
	21年	4,954	359	369	344	366	栃木 17%
	22年	4,722	398	412	391	389	愛知 13%
	23年	5,105	333	317	327	357	宮崎 5%
	24年	4,697	474	400	446	596	(愛知産比率 13%)
	5ヵ年平均	4,872	382	373	374	410	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,700	360	360	360		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。熊本の生育は低温の影響で2週間ほどの遅れが見られる。愛知の生育は圃場により着果状況に差異はあるものの概ね良好。前年はダイエットブームで荷動きが活発になったが今年は寒さで動きが鈍い。入荷量は前年並を見込み、価格は、前年を大幅に下回る見込み。</p>					
							
ミ ニ ト マ ト	20年	845	715	746	748	651	熊本 33%
	21年	875	670	756	628	619	愛知 24%
	22年	929	680	693	659	692	千葉 12%
	23年	954	672	656	682	681	宮崎 10%
	24年	964	886	807	816	1,067	(愛知産比率 24%)
	5ヵ年平均	913	726	732	707	742	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	950	650	600	650	700	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。愛知は寒波により生育は1週間程度遅れている。熊本は1月中旬にピークを迎え、現状出荷は順調、作付増もあり。 入荷量は前年並となり、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					
							

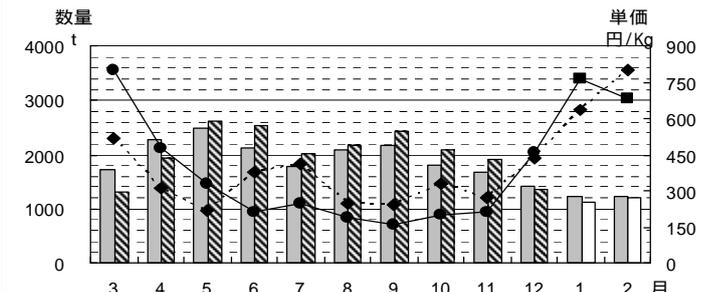
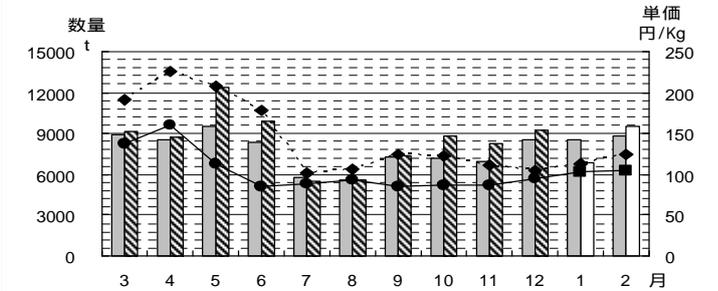
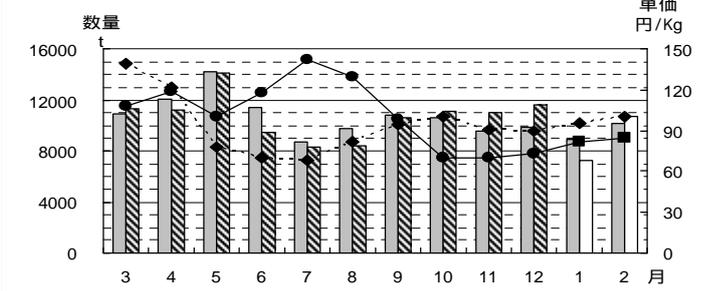
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	341	805	729	839	849	鹿児島 43%
	21年	363	695	816	665	608	宮崎 37%
	22年	346	723	775	694	701	高知 18%
	23年	362	623	643	619	608	
	24年	338	790	812	713	814	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	350	725	754	704	713	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	350	750	750	750	750	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は鹿児島、宮崎、高知。上旬までは各産地とも入荷が少ない。中下旬にかけ入荷量は回復するがある程度高値で推移する見込み。 入荷量は前年やや上回る見込みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	20年	3,640	107	98	104	122	北海道 56%
	21年	3,471	105	115	104	97	鹿児島 36%
	22年	2,894	136	126	137	151	長崎 8%
	23年	2,622	168	153	169	187	
	24年	2,921	138	135	142	135	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	3,110	128	123	128	135	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	3,000	120	120	120	120	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は北海道、鹿児島の2大産地。北海道は計画出荷で大玉は少ない。鹿児島いずみ産は抑制物でLサイズがほとんど。2月は離島物の出荷が始まり生育順調。サトウキビ畑が台風被害を受けたためばれいしょの栽培面積が増えた。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	20年	5,150	74	74	75	74	北海道 91%
	21年	5,947	68	66	75	64	静岡 5%
	22年	4,641	115	122	118	102	アメリカ 1%
	23年	3,980	129	134	138	116	中国 1%
	24年	5,205	94	95	98	101	
ね	5カ年平均	4,985	93	95	98	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	5,300	80	80	80	80	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>主な産地は北海道。他野菜は中国産の輸入物が多い中、たまねぎは輸入物は少ない。国産と輸入の価格差が少ないため値ごろ感もあり国産需要が高い。 入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	20年	1,170	870	875	890	847	宮崎 39%
	21年	1,155	733	845	709	643	高知 22%
	22年	1,134	732	768	703	723	鹿児島 19%
	23年	1,251	634	661	622	617	茨城 19%
	24年	1,217	800	822	695	862	(愛知産比率 -%)
マン	5ヵ年平均	1,185	753	797	724	738	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,200	680	660	680	700	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地と茨城からの入荷が中心となる。西南暖地産は寒さの影響で遅れはあるものの着果状況はまずまずでコンスタントな出荷が見込める。茨城も後半になり量がまとまってくる。 入荷量は前年並を見込み、価格は前年をかなり下回る見込み。					
ばれいしょ	20年	9,348	96	93	96	101	北海道 71%
	21年	7,982	108	109	108	108	鹿児島 18%
	22年	7,624	140	134	138	155	長崎 10%
	23年	7,855	156	147	159	166	
	24年	8,735	124	119	126	127	(愛知産比率 -%)
いしょ	5ヵ年平均	8,309	124	120	125	131	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,500	105	105	105	105	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道、鹿児島、長崎からの入荷が中心となる。北海道は貯蔵量は市況次第の出荷となる。生育が順調だったこともあり貯蔵量は潤沢で計画的な出荷が見込まれる。九州産も生育順調。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					
たまねぎ	20年	10,168	85	83	85	87	北海道 80%
	21年	9,457	87	84	90	88	静岡 7%
	22年	8,051	145	143	145	150	中国 5%
	23年	8,437	143	142	143	145	米国 4%
	24年	10,208	100	96	102	105	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5ヵ年平均	9,264	110	110	113	115	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	10,700	85	85	85	85	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		春先まで北海道中心の入荷が続く。北海道は需要に合わせた計画出荷体制となり平年レベルの量を上回った量を持っている。静岡は低温の影響で生育は遅れ気味である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	20年	10,419	370	364	371	379	フィリピン 18%
	21年	12,505	292	277	299	301	青森 15%
	22年	10,922	315	313	316	316	静岡 15%
	23年	10,825	293	291	287	305	愛媛 13%
	24年	9,083	374	356	370	397	
	5ヵ年平均	10,751	326	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	9,800	330	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は青森、静岡、愛媛。みかんが裏年でも入荷量が多く、品質良好だが小玉傾向。いちごとかんきつは中晩柑類が中心に入荷される。 入荷量は前年をわずかに上回りで、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
かんきつ	20年	6,675	172	168	177	175	静岡 28%
	21年	4,875	228	236	234	215	愛媛 24%
	22年	5,422	191	198	186	195	愛知 12%
	23年	4,082	302	296	317	300	和歌山 8%
	24年	4,606	259	263	262	256	
	5ヵ年平均	5,132	223	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	4,500	250	250	250	250	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、愛媛、愛知。品種はいよかんが中心、他はでこぼん、せとか、はるみ。安値で推移する見込み。中晩柑類は小玉傾向。年末に売れなかったみかんが1月にずれ込み三ケ日が2日間の出荷調整をした。気候が暖かいといよかん、寒いとみかんが売れる。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
いちご	20年	1,283	1,024	1,275	1,065	850	愛知 58%
	21年	1,194	1,003	1,101	957	956	熊本 20%
	22年	1,099	1,027	1,038	1,004	1,045	鹿児島 8%
	23年	1,186	1,021	1,129	1,002	945	三重 5%
	24年	793	1,418	1,443	1,418	1,385	
	5ヵ年平均	1,111	1,076	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	25年見通し	1,050	1,050	1,050	1,050	1,050	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。昨年は天候異常で出荷が少なかったが今年は2番果も順調で潤沢な出荷が見込まれる。2月上旬に出荷がピークとなる。 入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	20年	43,899	313	296	236	316	愛媛 19%
	21年	39,363	335	330	339	335	静岡 17%
	22年	41,283	312	297	316	332	青森 14%
	23年	34,582	400	392	403	408	フィリピン 10%
	24年	38,389	382	356	386	414	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	39,503	346	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	39,000	345	—	—	—		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>「りんご」「いちご」中心に「いよかん」「不知火」など晩柑類の入荷が本格化する。「いよかん」「不知火」は潤沢であるが、小玉傾向である。みかん類は静岡産の終了により中旬以降減少する。入荷量は前年並み、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
りんご	20年	6,470	248	245	251	248	青森 97%
	21年	7,537	201	198	202	205	長野 2%
	22年	6,886	224	220	226	231	岩手 1%
	23年	6,309	232	234	232	230	秋田 1%
	24年	5,434	351	341	353	361	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,527	246	243	248	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	6,500	290	280	290	295		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森から「ふじ」の貯蔵もの中心に「王林」「ジョナ」などが入荷する。「ふじ」について産地在庫は前年の倍ほどあり、40玉を中心に2月以降の出回り量が多い。入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
いちご	20年	4,952	1,061	1,279	1,092	889	栃木 38%
	21年	4,314	1,103	1,190	1,059	1,065	福岡 18%
	22年	4,331	1,124	1,058	1,145	1,197	茨城 12%
	23年	4,756	1,068	1,119	1,084	1,005	佐賀 10%
	24年	3,491	1,378	1,392	1,385	1,359	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	4,369	1,134	1,201	1,141	1,085	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
25年見通し	3,600	1,200	1,210	1,210	1,190		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>栃木中心に福岡、佐賀などから入荷。年明け以降は入荷も増えた。栃木は低温で遅れていたが、平年並みの作柄ですすんでいる。福岡、佐賀は低温で出荷が遅れ中旬以降まで不安定な見込み。茨城は低温で作柄はよくない。入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回るものの平年並みの見込み。</p>							

切花・鉢花の2月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 1月31日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	20年	2,442	60	
		21年	2,247	48	
		22年	1,979	54	
		23年	1,701	47	
		24年	1,649	58	
	5ヶ年平均		2,004	54	
	25年見通し		1,700	55	
概要	<p>愛知、沖縄、三重等から入荷。昨年の台風被害の影響が残っており、沖縄の出荷は少なめで、色物に不足感も。中旬にかけて一時増加するが、月末にかけては減少する。業務中心の動きで、上位等級は堅調だが、下位等級は落ち着いた動きとなる。</p>				
小 ぎ く	実績	20年	1,533	32	
		21年	1,234	35	
		22年	1,117	31	
		23年	1,121	32	
		24年	1,134	34	
	5ヶ年平均		1,228	33	
	25年見通し		1,130	33	
概要	<p>沖縄中心に入荷。作付は昨年よりもやや少なめとなっている。冷え込みの影響で遅れや伸び悩みが発生しているが、気温の上昇とともに安定してくる。</p>				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	20年	1,190	44	
		21年	1,204	35	
		22年	1,060	38	
		23年	1,036	38	
		24年	1,037	41	
	5ヶ年平均		1,106	39	
	25年見通し		1,150	40	
概要	<p>愛知を中心に和歌山、長野から入荷。年明けから順調な生育だが、このまま3月まで大きな山もなく推移すると思われる。需要面では小売向きの物は軟調で、基本厳寒期は葬儀中心の値動きになる。</p>				
か す み そ う	実績	20年	198	91	
		21年	274	43	
		22年	191	63	
		23年	167	61	
		24年	167	83	
	5ヶ年平均		199	66	
	25年見通し		175	70	
概要	<p>高知、和歌山中心に入荷。入荷は安定していて、バレンタインや桃の節句など下位等級の動きは良さそう。上位等級も業務中心で安定した動き。後半は卒業などの需要もあり、堅調な動きが見込まれる。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	20年	336	196	
		21年	277	180	
		22年	232	197	
		23年	257	187	
		24年	249	224	
	5ヶ年平均		270	196	
	25年見通し		260	200	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、愛知、静岡からの入荷。全体的に少なめで、業務中心の販売で相場は堅調。後半からは数量も増えてくるが、卒業などの需要もあり、流れは良さそう。LA、鉄砲ユリも少なめで、オリエンタル同様に堅調な動きが見込まれる。</p>				
洋らん	実績	20年	377	92	
		21年	365	73	
		22年	324	80	
		23年	464	61	
		24年	390	91	
	5ヶ年平均		384	78	
	25年見通し		410	80	
概要	<p>高知、徳島、愛知、輸入物が入荷。遅れていた蘭系が増加して低調な相場が2月も引き続く見込み。入荷量が例年通り増えてくるとさらに厳しい市況になりそう。</p>				
ばら	実績	20年	742	94	
		21年	763	79	
		22年	748	86	
		23年	691	82	
		24年	696	93	
	5ヶ年平均		728	87	
	25年見通し		700	90	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、和歌山等から入荷。週末の日柄があまり良くなく、ブライダル需要も少ない。昨年バレンタインが少し動いたため、今年も期待したい。今年は12月からの低温で加温で産地は苦労しているが、相場展開は厳しいものがある。</p>				
枝も	実績	20年	1,822	44	
		21年	1,514	40	
		22年	1,367	46	
		23年	1,500	48	
		24年	1,893	42	
	5ヶ年平均		1,619	44	
	25年見通し		1,900	42	
概要	<p>長野中心に花物、芽吹き等の促成物が、浜松からはコデマリが多く入荷する。桃の節句に向け、花桃も多く出荷されるが、需要の冷え込みにより動きは重い。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 力	実 績	20年	15,939	193	
		21年	14,227	197	
		22年	13,857	218	
		23年	14,438	234	
		24年	11,286	192	
	5ヶ年平均		13,949	207	
	25年見通し		14,000	230	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。5号以上のサイズは少なく、ポット物がメインと予想。単価面では昨年並みに中値安定か。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位静岡(41.5%)、2位新潟(33.0%)、3位愛知(18.7%)</p>				
プ ラ	実 績	20年	334,570	84	
		21年	364,342	93	
		22年	314,227	87	
		23年	270,668	114	
		24年	265,746	98	
	5ヶ年平均		309,911	94	
	25年見通し		300,000	98	
概要	<p>入荷量は増加か。12月末に遅れた為、例年より入荷が多くなる見込み。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(41.4%)、2位埼玉(16.8%)、3位奈良(9.5%)となっている。</p>				
チ ュ ー プ	実 績	20年	98,621	146	
		21年	72,720	152	
		22年	71,483	156	
		23年	64,271	184	
		24年	45,676	195	
	5ヶ年平均		70,554	163	
	25年見通し		50,000	190	
概要	<p>入荷量は若干遅れている分もあり、増える見込み。5号鉢を中心に、3.5号の芽出し、4~8号までの予定だが、1,000円以上で6号以上の商品は厳しい。4.5号のMIX、又、赤、ピンク、黄を中心に引き合いが強まると予想。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(43.8%)、2位埼玉(26.1%)、3位長野(11.5%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	20年	72,994	248	
		21年	69,462	237	
		22年	65,202	273	
		23年	76,930	254	
		24年	63,779	260	
	5ヶ年平均		69,673	254	
	25年見通し		63,000	525	
概要	<p>入荷量はやや減少か。1月出荷遅れの為、2月前半に入荷が見込まれるが2月後半よりは品薄の見込み。単価は昨年並みか。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位埼玉(30.3%)、2位愛知(16.3%)、3位三重(12.7%)となっている。</p>				
マーガレット	実績	20年	53,881	154	
		21年	65,335	134	
		22年	65,220	164	
		23年	60,020	169	
		24年	52,085	154	
	5ヶ年平均		59,308	155	
	25年見通し		59,000	155	
概要	<p>入荷量はやや減少か。生産数量は変わらないが、寒波の影響による開花遅れの為、減少の予想。市況についても店頭での売行き鈍化が見込まれ、弱含みか。 昨年2月の主要県の集荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(28.0%)、2位静岡(26.1%)、3位岐阜(22.3%)となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	20年	47,273	733	
		21年	42,917	733	
		22年	35,521	813	
		23年	38,127	680	
		24年	30,768	779	
	5ヶ年平均		38,921	744	
	25年見通し		38,000	700	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。小鉢化が進むのではないか。品種はあるが、単価に厳しい。3.5号~4号の良品があれば買入れし易いのではないか。 昨年2月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(45.6%)、2位宮崎(10.9%)、3位高知(9.2%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2012年)

1 輸入実績

品名	1 1 月						1 1 月 までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	58,795	91.7	7,034,812	125.1	120	136.4	801,820	106	122,837,522	174	153	164
トマト	852	232.8	349,381	297.8	410	127.9	5,765	220	1,992,073	246	346	112
たまねぎ	24,359	71.4	1,210,292	116.5	50	163.1	320,479	94	13,246,635	101	41	108
にんにく	1,424	118.6	251,499	197.2	177	166.2	18,293	105	2,789,923	91	153	87
ねぎ	4,511	130.7	387,218	103.8	86	79.5	47,532	99	5,387,292	117	113	118
ブロッコリー	2,505	122.3	361,222	120.9	144	98.9	45,609	130	6,753,624	119	148	92
結球キャベツ	466	43.1	12,033	46.8	26	108.4	32,692	128	1,194,353	148	37	116
にんじん・かぶ	4,959	120.8	180,735	125.7	36	104.1	77,840	103	3,596,884	105	46	102
ごぼう	4,137	104.5	176,894	93.4	43	89.3	44,171	108	2,189,849	73	50	68
えんどう	76	54.3	22,579	56.7	299	104.3	2,337	125	811,007	148	347	118
アスパラガス	1,433	107.4	960,680	120.8	670	112.4	14,306	127	6,962,690	118	487	93
まつたけ	141	110.0	420,180	93.0	2,984	84.5	1,406	117	5,555,813	98	3,951	84
しいたけ	505	105.1	149,015	114.1	295	108.5	3,686	85	1,200,147	106	326	124
かぼちゃ	7,334	106.1	523,563	111.6	71	105.2	108,754	112	7,205,547	115	66	103
果実(生鮮・乾燥)	144,990	104.3	18,840,947	107.8	130	103.3	1,816,459	105	216,431,326	106	119	102
バナナ	83,980	97.5	5,117,575	97.3	61	99.8	1,015,279	103	66,296,723	99	65	96
パイナップル	13,418	150.4	823,466	158.3	61	105.2	158,976	114	9,523,696	111	60	98
レモン	4,761	141.0	582,641	153.6	122	108.9	51,099	105	5,573,932	111	109	105
オレンジ	5,080	151.9	502,785	161.0	99	106.0	126,723	114	12,170,907	118	96	104
グレープフルーツ	8,748	97.6	954,608	106.4	109	109.0	138,864	93	12,372,470	98	89	106
メロン	1,862	75.5	185,809	84.6	100	112.0	27,719	90	2,766,514	96	100	106
ぶどう	3,154	92.4	885,690	106.1	281	114.7	20,118	141	4,463,099	153	222	109
キウイ	4,459	100.2	1,881,840	87.7	422	87.5	63,905	97	21,879,264	104	342	107
いちご	510	123.0	434,971	125.4	852	102.0	3,375	101	2,775,047	104	822	102
切花(生鮮・乾燥)	3,606	98.0	2,697,293	108.5	748	110.7	41,695	106	30,802,896	112	739	105
鳥獣肉類	158,544	92.3	66,730,796	89.3	421	96.8	1,682,688	99	724,218,741	97	430	99
牛肉(くず肉含む)	40,805	85.2	18,291,578	95.5	448	112.1	478,564	101	204,226,829	106	427	105
豚肉(くず肉含む)	63,970	83.6	33,592,587	83.6	525	100.1	719,604	99	377,521,061	99	525	100
鶏肉	46,382	114.9	9,793,548	91.3	211	79.5	402,233	94	89,572,667	76	223	80
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	160,913	78.0	90,489,942	80.0	562	102.5	1,680,352	103	947,912,133	105	564	102
まぐろ類	15,522	77.3	10,534,176	67.0	679	86.6	200,754	107	166,548,736	102	830	95
さば・さんま・あじ・いわし	9,535	31.0	1,733,549	24.3	182	78.3	70,784	83	13,488,021	84	191	101

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	3,031	91.4	846,850	75.9	279	83.0	10,930	62	4,330,884	72	396	115
うんしゅうみかん	1,062	95.0	126,505	108.3	119	114.0	2,221	95	309,060	96	139	100
りんご	1,707	82.6	590,226	63.3	346	76.6	5,560	42	2,097,274	48	377	115
なし	66	142.9	33,920	137.5	516	96.2	977	193	468,214	177	479	92
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	194,355	154.2	-	-	-	-	2,198,604	116	-	-
緑茶	183	116.0	387,859	119.7	2,116	103.2	2,117	98	4,505,150	107	2,128	109

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 7月	99.3	89.9	96.0	98.8	101.1
	8月	99.4	86.8	98.6	99.0	101.7
	9月	99.6	86.9	95.0	99.1	100.6
	10月	99.6	90.5	91.3	98.3	101.1
	11月	99.2	88.0	90.8	98.3	100.2
愛 知 県	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 7月	99.6	93.6	97.5	100.0	101.7
	8月	99.6	89.0	99.4	99.6	102.5
	9月	99.4	88.0	93.6	98.3	99.3
	10月	99.4	92.9	91.2	95.6	101.0
	11月	99.0	91.1	92.0	95.5	100.5

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	24年 7月	95.4	105.1	86.8	103.1	102.6
	8月	91.5	105.3	71.3	97.2	102.7
	9月	91.9	107.2	72.5	85.5	101.9
	10月	92.3	112.2	82.6	60.2	101.3
	11月	97.6	112.8	87.8	86.8	101.3

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
22年平均	2,236	158	172	603	419	313	142	314	203	510	615	201	447
24年 7月	2,118	116	161	707	293	282	141	416	274	446	592	141	684
8月	2,131	101	167	701	294	299	132	331	271	452	529	152	
9月	2,131	85	136	609	309	290	127	313	241	448	594	167	
10月	2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
11月	2,209	88	122	585	364	284	128	298	208	584	759	174	437
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(ロース)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g	100g	100g	100g
22年平均	604	312	382	143	254	682	603	162	166	326	223	752	479
24年 7月		309	343		208	756	533	141	157	302	230	817	400
8月		286	331		200	809	530	153	179	288	223	832	414
9月		570	269		196	751	528	149	177	292	227	811	360
10月		513	286		209	781	516	148	161	297	213	804	375
11月		529	288		211	818	528	149	167	296	211	776	398

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 476
平成25年2月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421